

1 液水性FRP防水面改修用トップコート
フローンFRP防水面用
アクアトップ

 **東日本塗料株式会社**

SDGsへの取り組み

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



東日本塗料は、環境に配慮した製品を多く世に送り出し、塗料を作る人・扱う人・住む人に優しい製品開発を行ってきました。

溶剤から水性塗料へのシフトが進んでいく塗料業界で、多種多様なニーズに応えられるような製品を送り出すことで、健康・産業・環境の3つの領域で貢献していきます。

荷姿



品名	容量	標準塗装面積
フローシFRP防水面用アクアトップ (A-4フォックスグレー)	12kg	0.15~0.2kg/m ² 2回塗りで30~40m ²
	4kg	0.15~0.2kg/m ² 2回塗りで10~13m ²

用途

ベランダ、バルコニーのFRP防水面の塗替え
プライマーレストップコートとして、2回塗で施工完了

＜適用下地＞

FRP防水面

FRP防水旧塗膜面

製品仕様

	フロンFRP防水面用アクアトップ ^o	備考
外観	グレー色粘稠液	
希釈率	無希釈	ローラー・ハケにて塗装
上塗可能時間	2～72時間	23℃

製品の特長

時短

コストダウン

環境に
やさしい

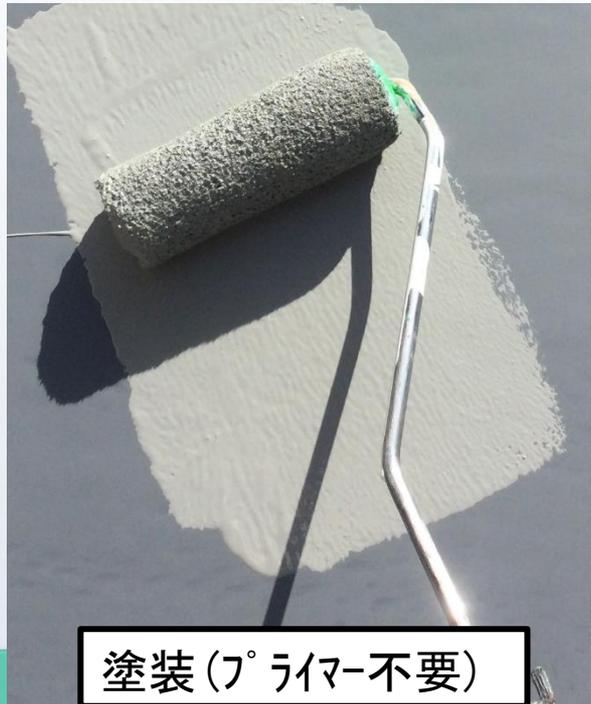
効率的な施工

時短

- 塗装後2時間で次工程に移ることができます。
乾燥が早いことから施工時間の短縮に貢献します。
- プライマーが不要で下地処理から塗装まで1日で完了できます。



下地処理



塗装(プライマー不要)



塗装完了

効率的な施工

コストダウン

- ベランダ、ルーフバルコニーのFRP防水面にプライマーを使用せずそのまま施工可能です
- 1種類の製品、2工程で完結
- 材料代・人工代のコストダウンにつながります。

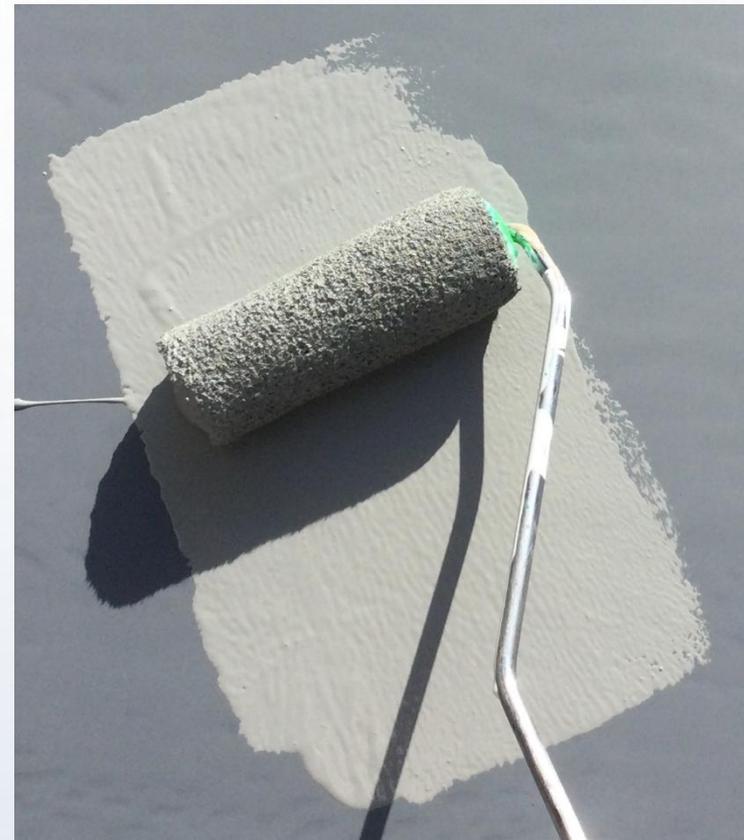


プライマーを使用せず2工程で施工完了

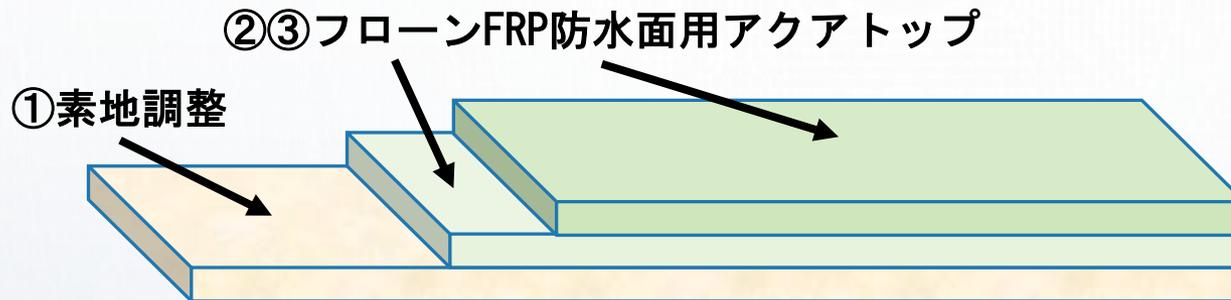
環境に
やさしい

• 1液水性で、F☆☆☆☆準拠
文部科学省基準6物質
厚生労働省指針13物質
非配合

	フロンFRP防水面用 アクリルトップ	FRP防水面用プライマー AUコート
塗料系	1液水性塗料	1液溶剤塗料 2液溶剤塗料
環境対応	水性・環境対応	溶剤系
臭い	低臭・溶剤臭無し	溶剤臭
仕様	0.15kg/m ² 2回塗り	0.15kg/m ² 1回塗り 0.2kg/m ² 1回塗り

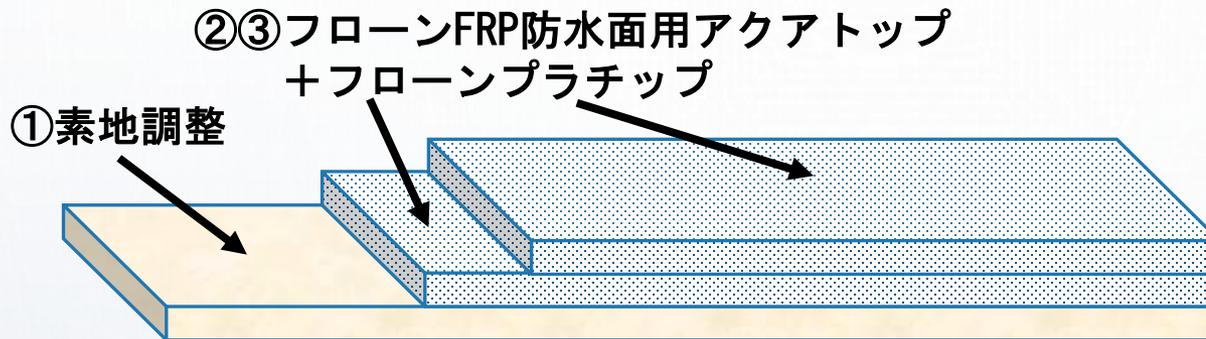


工法1. 平滑仕様



工程	材料名	使用量 (kg/m ²)	上塗可能時間 (23℃)	備考
1	素地調整	-	-	下地処理方法参照 (P13・14)
2	フローンFRP防水面用 アクアトップ	0.15	2~72時間	原液のまま、中毛ローラー・ハケにて塗布
3	フローンFRP防水面用 アクアトップ	0.15	-	原液のまま、中毛ローラー・ハケにて塗布

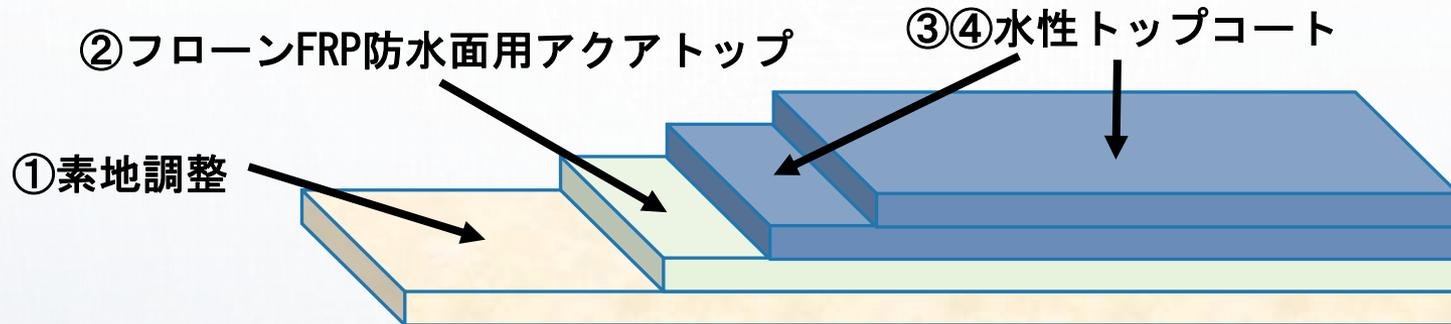
工法2. プラチップ仕上



工程	材料名	使用量 (kg/m ²)	上塗可能時間 (23°C)	備考
1	素地調整	-	-	下地処理方法参照(P13・14)
2	フロンFRP防水面用アクアトップ° フロン°ラチップ°	0.15 0.0075	2~72時間	フロンFRP防水面用アクアトップ°に対し、フロン°ラチップ°を5%(重量比)計量、混合し、電動攪拌機で十分に攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
3	フロンFRP防水面用アクアトップ° フロン°ラチップ°	0.15 0.0075	-	フロンFRP防水面用アクアトップ°に対し、フロン°ラチップ°を5%(重量比)計量、混合し、電動攪拌機で十分に攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。

工法3. 水性プライマー仕様

FRP面の水性プライマーとして使用できます



工程	材料名	使用量 (kg/m ²)	上塗可能時間 (23℃)	備考
1	素地調整	-	-	下地処理方法参照 (P13・14)
2	フローンFRP防水面用 アクアトップ	0.15	2~72時間	原液のまま、中毛ローラー・ハケにて塗布
3	水性トップコート (シートツップ・エコツップ 類)	-	-	各製品の塗装仕様に準拠
4	水性トップコート (シートツップ・エコツップ 類)	-	-	各製品の塗装仕様に準拠

密着性(下地・上塗可能製品)



下地の種類	密着性
FRP防水面	○
水性アクリル系塗料	○
水性アクリルウレタン系塗料	○
溶剤系アクリルウレタン系塗料	○

上塗可能製品	光沢	密着性
シートトップ#100・#200	艶消	○
遮熱シートトップ100・200	艶消	○
エコトップ	艶有	○
エコトップ遮熱	艶有	○

下地処理方法①

FRP防水面を改修する際、ゴミ・埃・汚れ等が付着している為、これを清掃して除去して下さい。

また塗膜のチョーキング、こびり付いた汚れや塗膜の剥離などは、清掃では取り切れない為、高圧水洗で十分に洗い流して下さい。

※剥離した塗膜が残っている場合、施工後のハガレや割れの原因となります。



下地処理方法②

FRP防水面をマジックロン(#40~#80)やサンドペーパー(#60~#100)で目荒らしを行います。

研磨粉を除去した後、布ウエス等でアセトン拭きを行いワックス分を除去します。

※バグキ・密着不良の原因となる為、研磨とアセトン拭きは十分に行ってください。



FRP防水面のトップコートに亀裂・ハガレ等の欠損がある場合は
フロンFRP防水面用アクトップの施工は行わないで下さい。
そのまま施工した場合、下地の凹凸を拾ったり
亀裂が再発する恐れがあります。

この場合はフロンFRP防水面用プライマーを塗装し、
亀裂や欠損部をシーリングで処理し、
FRP防水材（フロン#12）の施工を推奨します。

※亀裂・ハガレの内部に水分が残っている場合、カビが発生する
恐れがあります。



工程	材料	使用量 kg/m ²	上塗可能時間 (23°C)	備考
1	素地調整 (FRP防水面トップコート)	—	—	旧トップコートにハガレがある場合は、高圧水洗やケレンで 取り除き、次工程に進む。 旧トップコートのハガレ部分は、プライマー塗布後、 シーリングにて処理する。
2	フロンFRP防水面用 プライマー	0.15	1~12時間	原液のまま、ローラー、ハケにて塗布する。
3	フロン#12	2.0	24~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、 電動攪拌機で十分に攪拌後、コテにて塗布する。
4	スーパートップ 遮熱 トップ14シナー	0.2 0.02~ 0.04	—	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、トップ14シナーにて 10~20%希釈、混合、攪拌後、中毛ローラー、ハケにて 塗布する。

注意事項

- 1、FRP防水面に割れ、ハガレ等が発生している場合は、上塗りのフクレ・破断等の恐れがある為、トップコートの施工は避けて下さい。
- 2、塗装前に塗膜の種類・状態を確認し、密着性の確認を推奨します。
- 3、FRP防水面にはワックス成分が残っている為、サンドペーパーやマジックロン、オービタルサンダー等による研磨とアセトン拭きを行ってください。下地処理が不十分な場合は、密着不良の原因となります。
- 4、上塗りは72時間以内に行ってください。塗装間隔が72時間以上空いた場合は、表面の目荒らしを行ってください。
- 5、厚塗りを行わないで下さい。塗料のダレや仕上がりに影響し、塗膜表面のヒビや割れの原因となります。
- 6、本製品はFRP防水面改修用トップコートです。ウレタン防水面の改修には使用しないで下さい。

よくある質問①

- 1、調色対応は可能か？
⇒現状は1色(A-4)のみの展開。要望や販売数量に応じて調色対応を検討します。
- 2、下地処理にケレンとアセトン拭きがあるが、もっと簡単にできないか？
⇒FRP防水面の表面にはワックス成分があり、剥離の原因となります。手直しや再施工の手間を考慮すると、下地処理をしっかりと行うことを推奨します。
- 3、ウレタン防水材を上塗りに使えないか？
⇒FRP防水面用プライマーを塗装し、ウレタン防水材を施工してください。
- 4、厚塗りをして割れやクラックを埋めることができるか？
⇒本製品は薄膜の塗料ですのでクラックを埋めるほどの膜厚はありません。適切な処理を行わずに塗装してしまうと、クラックが再発する恐れがあります。ポリエステルパテでクラックを埋め、下地処理を行った後に施工して下さい。

よくある質問②

- 5、アクリル系の塗料か？
⇒本製品はアクリルウレタン系の塗料です。
- 6、アセトンが無いけど別のシンナーで代用可能か？
⇒ワックス成分を除去するのにアセトンが最も適しているため、アセトン拭きを推奨します。用意できない場合は、ケレンを念入りに行ってください。
- 7、ドレン廻りや立上り面の塗装でダレは起こらないか？
⇒標準使用量（ $0.15\text{kg}/\text{m}^2$ ）の範囲であればダレは起こりません。
- 8、フローンFRP防水面用アクアトップを、1層塗装した後に雨が降った場合はどうすれば良いか？
⇒表面をよく乾燥させ清掃後に再度塗装して下さい。
- 9、プラチップ仕上げで施工する場合、塗料が重くなったりするか？
⇒フローンプラチップ5%（重量比）添加して塗装する場合、平滑仕様と作業性は変わりません。

よくある質問③

- 1 0、耐久年数はどの程度か？
⇒約5年です。施工環境によって前後します。
- 1 1、本製品は艶消し塗料ですが、艶有りにしたい場合はどうすればいいか？
⇒上塗りに艶有のトップコート（エコトップ等）を施工することで艶有の仕上げが可能です。
- 1 2、金属部分（ドレン等）も一緒に塗装することは可能か？
⇒金属面の塗装は、水性サビ止めプライマー等のプライマーを先に塗装して下さい。
- 1 3、本製品を塗装したが一部ハジいてしまった。原因と対策は？
⇒油脂、ゴミ、FRP防水面に残ったワックス成分がハジキの原因と考えられます。ハジキ部分を念入りに目荒らしを行い、研磨粉を除去した後に再塗装して下さい。